

1. デジタル田園都市国家構想交付金事業の実施手順

PDCAサイクルに基づくデジタル田園都市国家構想交付金事業の基本的な実施手順は、次のような流れとなります。

Plan
段階

手順1 達成目標の確認（地方版総合戦略等に掲げられた目標）

○地域の実現したい**達成目標を確認**します

→ 地域における「どうなりたいか（目指す姿）」を確認します。地方版総合戦略に掲げられた目標等がそれに該当します。

手順2 達成手段の企画立案（個別の交付金事業の計画）

○達成目標を実現するための**達成手段（個別事業）の企画立案**をします

→ 手順1で確認した目標を実現するための取組が、デジタル田園都市国家構想交付金を活用した「事業」となります。

→ 官民協働/政策間連携/地域間連携などに留意しつつ、地方版総合戦略に掲げた**目標を実現するための取組群を交付金事業として組み立てます。**

手順3 KPIの選定

○交付金事業の評価のための**KPIを選定**します

→ 手順2で構想・計画した事業の進捗管理に活用できる**客観的な成果を表す指標をKPIとして選定**します。交付金事業と直接性のある指標とすることに留意します。

* この手順で選定する指標が、デジタル田園都市国家構想交付金の事業実施計画に求めるKPIです。

手順4 目標水準の設定

○KPIの**目標水準を設定**します

→ 手順3で選定したKPIに対し、妥当な水準の目標を設定します。

→ あわせて、どのようにKPIを測定し、どのように活用するかを決定します。具体的には、データの収集方法の決定、測定タイミングの決定、利害関係者等とのKPI計測情報の共有の場の設定、などが挙げられます。**この段階で、データが収集しにくい等の問題に気が付いたら、手順3に戻り、設定したKPIを見直します。**

Do
段階

手順5 事業実施

○交付金を活用した**事業実施を進め**ます

→ 企画立案した**達成手段（個別の事業計画）に基づいて**、交付金事業の実施を進めます。

手順6 KPIによる事業評価

○**KPIによる事業評価を進め**ます

→ 設定・計測したKPIを活用して、事業の**成果の確認や、進捗状況のチェック等**を行います。

Check
/Action
段階

手順7 評価に基づく事業改善

○**評価に基づいて事業改善を進め**ます

→ 事業評価に基づいて改善に係る検討をおこないます。事業に携わる利害関係者等と情報を共有しつつ、例えば、**達成できていない要因の分析、要因分析を踏まえた事業改善の方向性の検討など**を進めます。

PDCAサイクルの各段階で取り組むべきことは、次のとおりです。

段階		手順	取り組むべきこと	
Plan 段階	事業アイデア・ 事業手法 の検討 ＜Plan＞ →P. 49	手順1：達成目標の確認	課題・ニーズ の明確化	- 地域の課題・ニーズの共有と明確化 - 定量的・客観的な分析
			事業手法の 検討	- 地域資源の活用 - 外部の人材・知見の活用 - 異なる政策間・複数の地域間での連携の検討
	事業の具体化 ＜Plan＞ →P. 51	手順2：達成手段の企画 立案	事業実施体 制の構築	- 既存の組織・ネットワークの活用 - 関係者の役割・責任の明確化
			自立性の確 保	- 自走を意識した計画 - 経営の視点からの検証
Do 段階	事業の 実施・継続 ＜Do＞ →P. 53	手順3：KPIの選定 手順4：目標水準の設定	達成すべき目 標・水準の設 定	- 詳細な工程計画の策定 - 効果・進捗を確認できるKPIの設定
Check/ Action 段階	事業の 評価・改善 ＜Check/ Action＞ →P. 55	手順5：事業実施	事業の実施	- 事業主体間の緊密なコミュニケーション - こまめな進捗と質の管理
			事業の継続	- 安定した人材の確保 - 地域の理解醸成を促す情報提供 - 地域主体の更なる参加促進
		手順6：KPIによる事業評 価	事業の評価 体制・方法	- 外部組織・議会等による多角的検証 - KPIが未達成の要因分析・課題の把握
		手順7：評価に基づく事業 改善	改善への取 組	- 事業改善・見直し方針の明確化 - 事業実績の報告・次年度事業計画へ反映